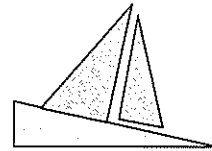


## 退院促進支援事業の実践例

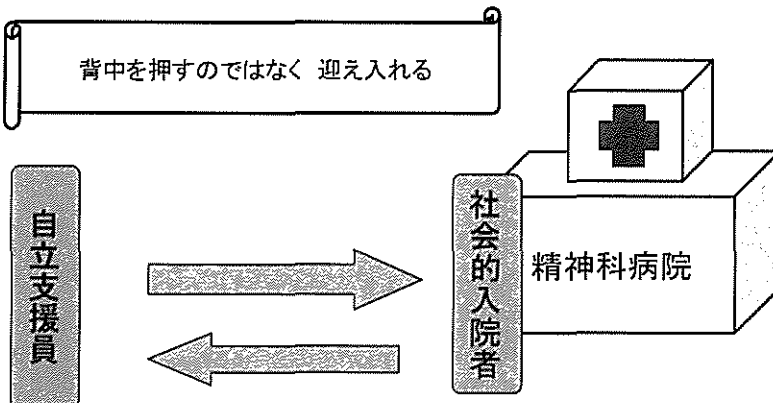
大阪府障害保健福祉室  
地域生活支援課 鹿野勉

平成18年5月11日資料



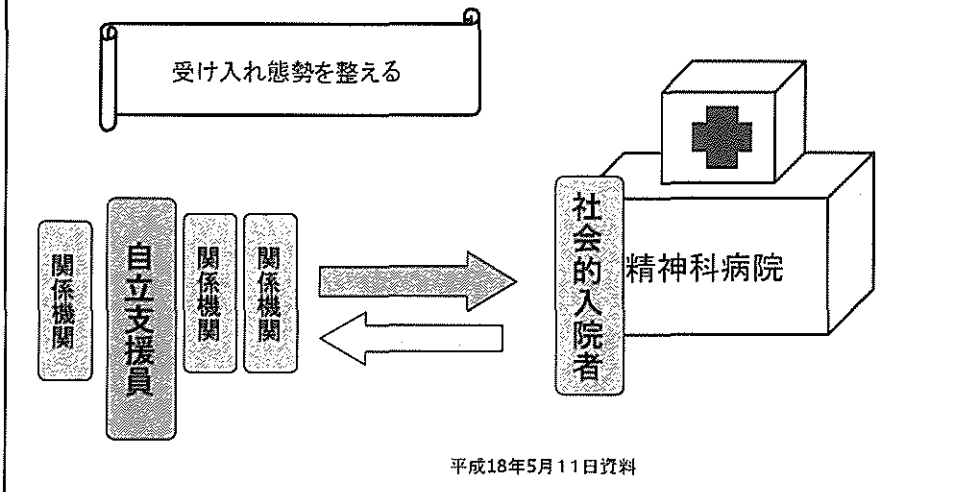
## 退院促進支援事業の概要 I

背中を押すのではなく 迎え入れる

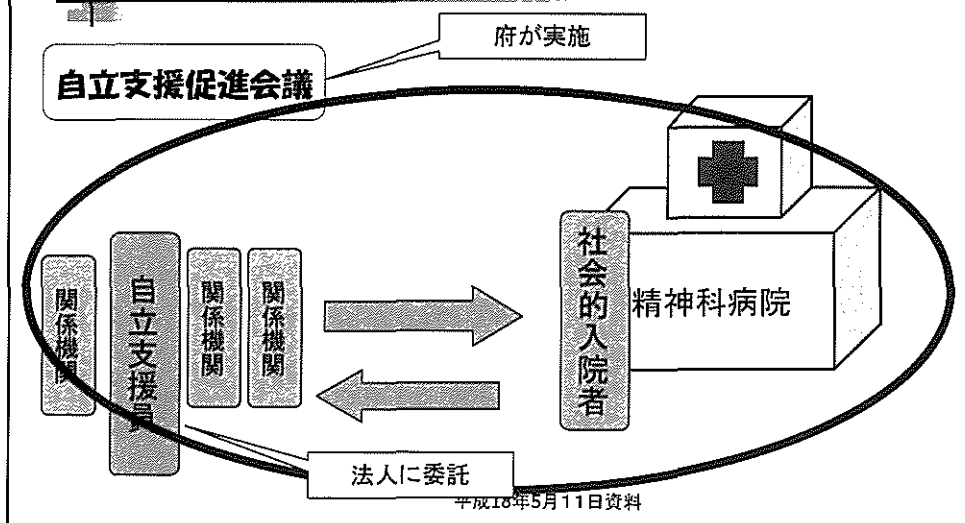


平成18年5月11日資料

## 退院促進支援事業の概要 II

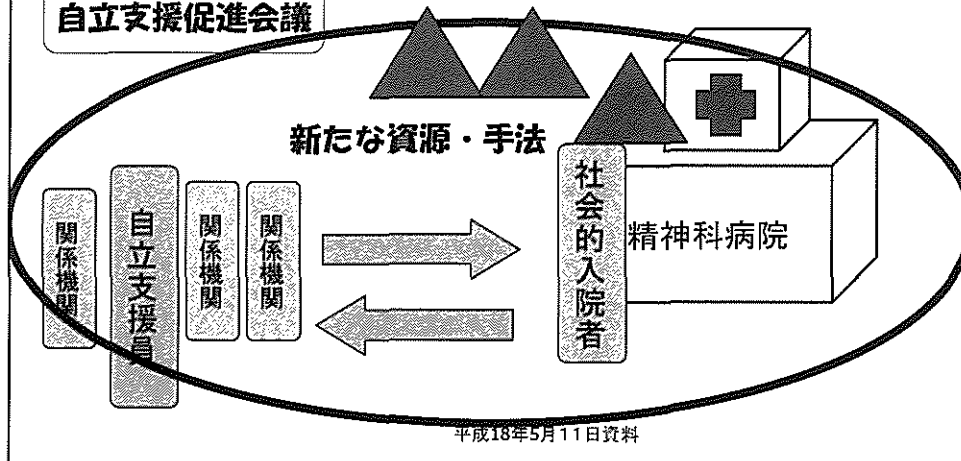


## 退院促進支援事業の概要 III

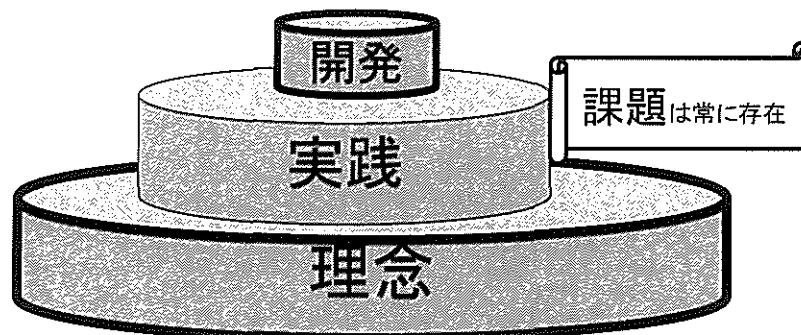


## 退院促進支援事業の概要 IV

自立支援促進会議



## 退院促進事業のポイント



平成18年5月11日資料

## 退院促進事業の設立の背景

- 精神科病院の人権侵害事件→廃院へ
  - 精神保健福祉審議会の答申(平成11年)  
→社会的入院は人権侵害  
医療機関だけでは限界  
行政は積極的に→自立支援促進会議  
退院促進事業
- 審議会答申の具体化が行政課題となった

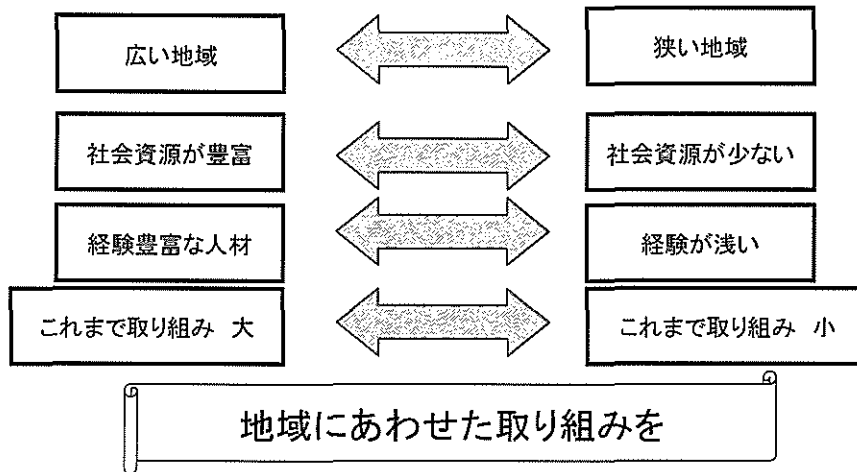
平成18年5月11日資料

## 事業立ち上げ期(平成12年)

- 府事業としての「自立支援促進会議」  
府全保健所圏域で、一斉に実施  
全市町村・精神科病院等に働きかけ
- 「審議会答申の具体化」という理念  
社会的入院は「地域の課題」

平成18年5月11日資料

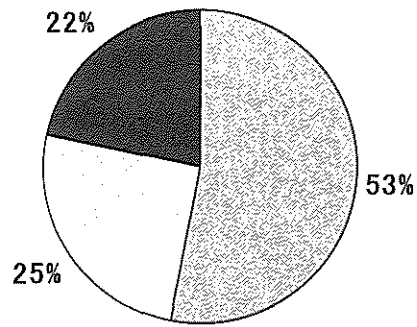
## 地域事情に合わせて取り組む



## 事業開始当時の関係者の指摘

- 事業対象者がいない
- 退院後のケアが大切
- 入院患者のことを分かっていない
- いままで出来ることはやってきた
- 社会資源が不足
- 退院の援助は病院の仕事 etc..

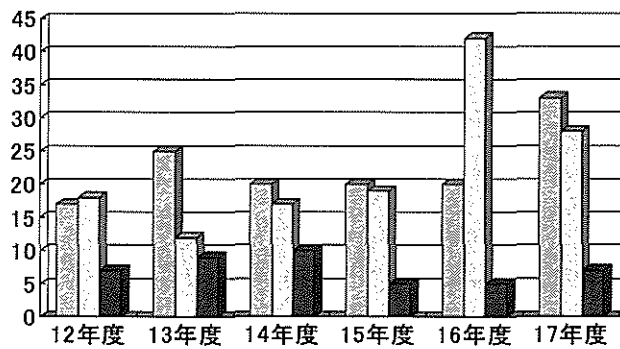
## 事業結果(5年間 N=160)



□退院 □入院・支援中 ■支援中止

平成18年5月11日資料

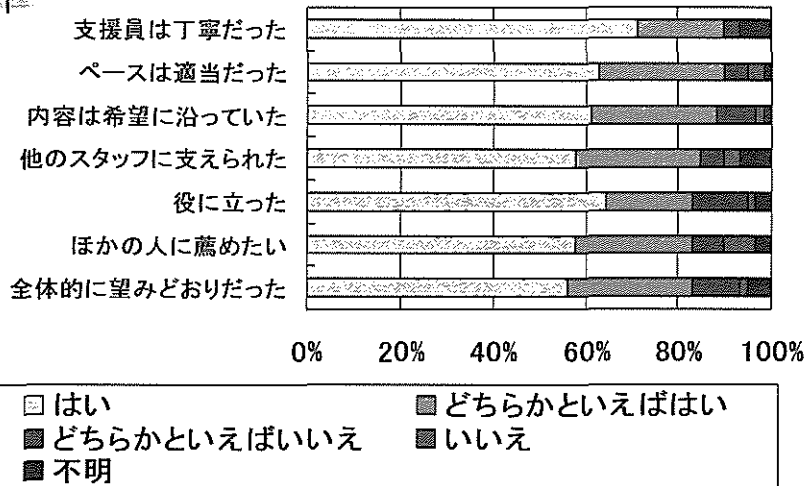
## 年度ごとの状況



□退院 □入院・支援継続 ■中止

平成18年5月11日資料

## 支援に対する感想 (平成16年度)



## 新たな取り組み I

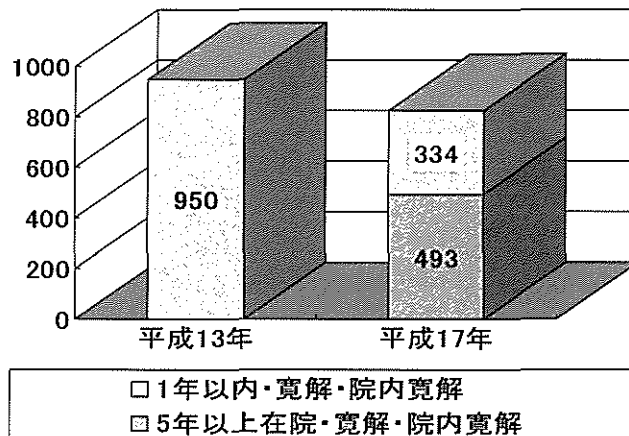
- 病院で
  - 院内説明会(スタッフ向け)→4年間で24回825名
  - 院内茶話会(患者向け)→3年間で59回580名
  - 看護との合同研修会→訪問看護ステーション立ちあげ
- 地域で
  - グループホーム体験入所→府事業化 9圏域で
  - ・グループホーム(3箇所)や作業所の設立(2箇所)

## 新たな取り組み Ⅱ

- 対象者に情報を伝えるツールの作成  
(ビデオ 6箇所・パンフ2箇所 等)
- 当事者自立支援員 4年で23名 非常勤雇用
- 社会資源見学会 29回 299名
- その他 院内・院外での会議等

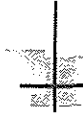
平成18年5月11日資料

## 大阪府第3次障害者計画の進捗状況

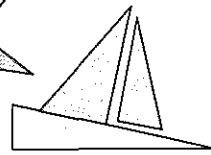


平成18年5月11日資料





ご静聴ありがとう  
ございました



関連資料は大阪府こころの健康総合センターのホームページからダウンロードできます

<http://www.iph.pref.osaka.jp/kokoro/>

平成18年5月11日資料